

## (事例 3) 化学工業

- 労使が一致協力して労働災害防止に対する気運が高まる！ -

### 1 規模

109 名 ( 全社 121 名 )

### 2 リスクアセスメント等実施体制

実施体制	役職等
統括管理	代表取締役
実施管理	安全管理者、衛生管理者、職長
作業指揮	衛生管理者、職長

### 3 リスクアセスメント等導入時期

開始年月日	実施内容
平成 16 年 6 月	リスクアセスメントの取組開始
平成 18 年	労働安全衛生マネジメントシステム構築を計画
平成 19 年 4 月	「安全衛生方針」を宣言→トップによる意思表示
平成 19 年	リスクアセスメントに係るの教育、推進組織の立上げ、規程の策定、規程に基づき推進員への教育
平成 20 年 1 月	労働安全衛生マネジメントシステム構築自社宣言

### 4 リスクアセスメント等導入のきっかけ

平成 18 年の労働安全衛生法の改正に伴い導入を決定

### 5 「危険性又は有害性の特定」で成功した事例又は苦勞（失敗）した事例

#### 〈成功した事例〉

改めて危険性又は有害性の特定を実施することにより、今まで意識していなかった、内在する危険性及び有害性を掘り起こし、洗い出すことができました。

#### 〈失敗した事例〉

- (1) 一度に全ての職場を対象にリスクアセスメントを実施したために、リスクアセスメント事務局の業務がパニック状態になりました。
- (2) リスクアセスメントについての教育が十分でなかったため、職場によってはリスク評価等に著しいバラつきがみられました。

### 6 「リスクの見積り」で成功した事例又は苦勞（失敗）した事例

#### 〈成功した事例〉

リスクの見積りにより優先順位が明確となり、効率、効果的に各設備及

び環境について 対策を講じることが、可能になりました。

#### 〈失敗した事例〉

リスクアセスメントを導入した当初は、同じ設備であってもリスクをすべて軽微な災害と見積もる職場とすべて重篤な災害と見積もる職場があり、事業場全体としてバラつきがみられました。

### 7 「リスクアセスメント実施状況の記録と見直し」で成功した事例

リスクアセスメント実施状況の記録と見直しにより、進捗状況を適宜把握することができ、計画についても適切な時期に策定、見直しを図ることができました。また、その実施により、各職場の職長等が他の職場のリスクアセスメント実施状況を確認することもでき、各職場が積極的にリスクアセスメントを実施するようになりました。

### 8 リスクアセスメントの効果

労使共に安全衛生に対する意識が高揚し、一致協力して機械設備のリスクの低減と労働災害防止しようとする気運が高まりました。

リスクアセスメントを行なうことで、職場にあるリスク（特に残留リスク）を意識した上で、作業を安全に遂行する方法等を作業員自らが考えるようになりました。

# 設備・作業のリスク評価表

部門名 生産技術部  
場所名 各種ポンプ  
リスクアセスメント実施日 H19.05.11

部署名 施設G  
工程名 保全  
RA実施者

リスク評価年月日: H19.05.11  
リスク評価者

確認	作成
部門長	部署長

NO	作業・工程名 設備名称	危険作業分析		リスク内審		リスク内審		リスク内審		対策の 優先 順位	実施 性	担当 者				
		危険 項目	頻度 (回/重)	時間 (分/回)	形態	リスク 内審	対策 内容	対策 内容	対策 内容							
1	各種ポンプ	現場連絡	-	-	(非)	連絡不行き届きにより不時起動しケガをする	ch	cs	II	10	私抜けの実施	d	II	5		
2		電源切り直し	-	-	-	(非)	間違っって別のブレーカーを切った事で不時起動し	dh	ds	II	5	指差呼称をして間違いをなくす	d	II	5	
3			-	-	-	(非)	ブレーカーを切る際に充電部に触り感電する	dh	ds	III	3	ブレーカーに絶縁カバーをする	d	III	3	4
5			-	-	-	(非)	フランジを割る時に残液がはねて目に入る	bh	bs	I	15	ゴーグルを着用する	d	I	8	5
6			-	-	-	(非)	マグネットポンプ取外し時電線の切り離して電気が切れてなく感電する	ah	as	III	11	札掛け・指差呼称をする	d	III	3	5
7			-	-	-	(非)	液抜きしても残った液で重傷する	bh	bs	II	13	保護具を着用する	d	II	5	5
8			-	-	-	(非)	ボルトナット取外し時スカタンをくらくらして打撲する	ch	cs	IV	2	作業前にKYをする	d	IV	1	5
10			-	-	-	(非)	ボルトナット取外し時ガスの勢いで液がはねて目	ch	cs	III	6	保護具を着用する	d	III	3	5
12			-	-	-	(非)	ポンプを台車まで運ぶ際に落とす足や手を挟む	ch	cs	III	6	重要ポンプの運搬は2人作業で行う	d	III	3	5
13			-	-	-	(非)	近接配置を破壊しない様に無理な体勢で作業をして膝を傷める	ch	bs	IV	2	作業前にKYをする	d	IV	1	5
14			-	-	-	(非)	作業近くの機械が動き出し巻き込まれる	ch	as	II	13	作業前にKYをする	d	II	5	5
15			-	-	-	(非)	台車で運搬中ポンプが落ちて足を挟む	ch	bs	III	6	台車に固定して運搬する	d	III	3	5
16			-	-	-	(非)	内部洗浄時、液が目に入る	ch	cs	II	10	ゴーグルを着用する	d	II	5	5
17		-	-	-	(非)	ハンマー使用時に頭で手を打つ	ch	cs	III	6	作業前にKYをする	d	III	3	5	
18		-	-	-	(非)	磨耗したインペラで手を切る	bh	cs	IV	4	保護具を着用する	d	IV	1	5	
19		-	-	-	(非)	ベアリング抜き時スカタンをくらくらして体を打つ	ch	cs	IV	2	適正工具を使用する	d	IV	1	5	
20		-	-	-	(非)	カップブラシで磨き中にワイヤでケガをする	bh	cs	II	13	保護具を着用し、垂立き立てる	d	III	3	5	
21		-	-	-	(非)	キヤードポンプ・ピエースポンプのクリアランス調整中に指を挟まれる	ch	cs	IV	2	作業前にKYをする	d	IV	1	5	
22		-	-	-	(非)	フロントケーシング組立時滑として手や足をばさむ	ch	cs	III	6	油具を使用し、垂立き立てる	d	III	3	5	
23		-	-	-	(非)	ハンマー使用時に頭で手を打つ	ch	cs	III	6	作業前にKYをする	d	III	3	5	
24		-	-	-	(非)	暖められたベアリングで火傷する	ch	cs	IV	2	保護具を着用する	d	IV	1	5	
26		-	-	-	(非)	ポンプを運搬する際に落とす足や手を打つ	ch	cs	III	6	重要ポンプの運搬は2人作業で行う	d	IV	1	5	
27		-	-	-	(非)	配管接続時メクラ板を取外す際に液がはねて重傷	ch	cs	III	6	任付きコック付きのメクラ板を使う	d	III	3	3	
28		-	-	-	(非)	フランジ面清掃時上げ時カップブラシのワイヤでケ	bh	cs	II	13	保護具を着用し、垂立き立てる	d	III	3	5	
29		-	-	-	(非)	ボルトナット取付時にスカタンをくらくらして打撲する	ch	cs	IV	2	作業前にKYをする	d	IV	1	5	
30		-	-	-	(非)	出しでライター・監禁中モーターで指を挟む	ch	cs	IV	2	ライターモーターの下に隠れるまで入れ	d	IV	1	5	
31		-	-	-	(非)	フランジの締め不足で液が噴出し重傷する	ch	cs	III	6	作業後の増し締めの確認を必ずする	d	III	3	5	
32		-	-	-	(非)	絶縁時カップリング・Vベルトに巻き込まれる	ch	cs	II	10	巻き込まれ防止カバーを設置する	d	II	5	4	